

第22章 ウェブページの作成2

- ✓ 画像の表示
- ✓ HTMLの細かいタグ
- ✓ 自己紹介ページの作成

1. 画像を入れる

Word の画面で画像(写真や絵)を入れるときは、イメージそのものを表示したが、ウェブページに画像を入れるには、メモ帳の画面で、直接画像を表示させることはできない。

作業している「HTML の練習」フォルダーに、挿入したい画像をあらかじめ保存しておく必要がある。画像¹の保存方法は**演習1、2-2**で解説する。

なお、第12章2節でも示したとおり、自分で撮影した写真や絵以外は著作権がある。不用意に、本やウェブページから画像を持ってきて自分のウェブページに貼り付けないように注意しよう。また、人物が映っている写真や似顔絵は、対象となった人の肖像権があるので、自分で写したからといって使用できない。

自分で撮った画像とウェブページに画像を入れるにはタグを用いる。ここで image.jpg が挿入したい画像ファイルの名称である。これは単独で使用するタグであるので、終了タグはない。を一つの文字だと思って好きな場所に入れることができる。

```

```

画像の大きさを指定する場合は、画素数(単位ピクセル)²を書く

```

```

```

```

¹ ファイルが大きすぎると、ブラウザーで表示する場合に時間がかかるので、20KB 程度で充分である。最近では、デジカメの性能がよくなって、1枚の写真が1MBほどのファイルになることもある。このファイルをそのままウェブページに貼り付けると、通信時間が多くなり、ウェブページを見る人は重くて(画面を見るまでに時間がかかって)迷惑である。JPEG 方式では、圧縮しても、ほとんど画像の質は落ちないので、見る人のことを考えて、ファイルを小さくするように気をつけよう。

²  **図第26章1節**

保存ができれば、第21章で作っていた `hello.html` に手を加えて上書き保存し、ブラウザで確認してみよう。

例7: 画像を入れる

```
<html>
<body bgcolor=yellow>
<p>背景は黄色にした。</p>
<p>Hello</p>
<p align=center><font size=7 color=red>HTML</font></p>
<p>HTML とは<font color=blue>Hyper Text Markup Language</font>の略である。HTML
にはたくさんのタグがあり、それらがブラウザに対する命令である。</p>
<p><font size=5>HTML の構造</font></p>
<p>HTML は、タグを入れ子状にして書く。まず HTML タグで開始する。</p>
<p>画像をいれるには IMG タグを利用する。</p>
</body>
</html>
```

2. ボールド／イタリック／アンダーライン

特定の文字に飾りをつけるには以下のようなタグを用いる。

機能	開始タグ	終了タグ	実行例
ボールド	<code></code>	<code></code>	太字
イタリック	<code><i></code>	<code></i></code>	<i>イタリック</i>
アンダーライン	<code><u></code>	<code></u></code>	<u>アンダーライン</u>
打ち消し線	<code><s></code>	<code></s></code>	打ち消し線

3. 記号を入れる

HTML では、`<`、`>`といった記号はタグを表す記号であるため、この記号自体を画面に表示させるには特殊な書き方が必要である。またそれ以外にも特殊な記号は別の書き方で指定する。

以下の表には、いくつかの書き方の例を載せた。`<` と `>` は必ず `<`、`>` と書かないとブラウザに表示されないが、それ以外の記号は、かな漢字変換で変換されるものであればこのような書き方をしなくても画面に表示させることができる。

記号	書き方	記号	書き方
<	<	♠	♠
>	>	♣	♣
©	©	♥	♥
®	®	♦	♦

それでは、いままで作っていたウェブページのタグの表現部分を、上記の方法を用いて < や > が表示されるように改造してみよう。

4. 改行する

<p>~</p>の中で文章を強制的に改行したいことがある。メモ帳の中でいくら改行しても、ブラウザ上では改行されて表示されはしない。それには、
タグを利用する。これも単独で利用するタグであり、強制的に改行したいところに入れるとよい。

5. 水平線

行の途中で、区切りのために水平線を1本入れるには、<hr>タグを利用する。これも単独で使うタグである。

```
<hr>
```

色を lime、中央揃え、画面の 80%表示、線の太さ 10 ピクセルの水平線を描くときは、以下のような指定をする。

```
<hr color="lime" align="center" width="80%" size="10">
```

6. リンク

ほかのサイトにリンクをさせるためには、<a>タグを使う。href=の後ろには、URLやファイル名を書く。また、リンクを張る文字の部分をとではさむ。自分で作った別のサイト school.html にリンクさせるためには、

```
<a href=school.html>別のサイトへいく</a>
```

外部のウェブページhttp://www.toyoeiwa.ac.jpにリンクをする場合は、

```
<a href=http://www.toyoeiwa.ac.jp>東洋英和女学院</a>
```

例8 完成品

```

<html>
<body bgcolor=yellow>
<p>背景は黄色にした。</p>
<p>Hello</p>
<p align=center><font size=7 color=red>HTML</font></p>
<p>HTMLとは<font color=blue>Hyper Text Markup Language</font>の略である。
<b>
HTMLにはたくさんのタグがあり、それらがブラウザに対する<b>命令</b>である。
タグは<と>で開始し、<で終わるように書く。</p>
<p><font size=5>HTMLの構造</font></p>
<p>HTMLは、タグを入れ子状にして書く。まず<b><HTML></b>タグで開始する。</p>
<p>画像をいれるには<b><IMG></b>タグを利用する。
</p>
<br>
水平線を引いた。<br>
<a href=http://www.toyoeiwa.ac.jp>東洋英和女学院</a>
東洋英和女学院にリンクを張った。<br><br>
<a href="school.html">私のお気に入り</a>
</body>
</html>

```

hello.html 実行結果



この段階では、最後の行「私のお気に入り」は、リンク先ページがないので、開けようとするとうエラーになる。演習4でもう1ページを作ると完成。

演習

1 オンライン画像から写真入手する方法

Wordなどで使ったオンライン画像には多くの写真が用意されている³。

1. Word を起動する。
2. [挿入]タブ/[図]の「オンライン画像」を選ぶ。
3. 表示された「画像の挿入」ダイアログに、「秋 写真」のキーワードを入れて検索し、適切な写真を選択して、**挿入**をクリックし、Word に貼り付ける。



4. Word に貼り付いた写真を右クリックし、[図として保存]を選ぶ。
5. ダイアログボックスが開くので、個人専用フォルダーを開き、ダブルクリックしてフォルダーをたどり「HTML の練習」を開く。今まで保存してあった拡張子 docx や html のファイルが見えなくても心配ない。
6. 自分にわかりやすいファイル名を入力する。
7. ファイル名の下にファイルの種類を示す拡張子が表示されているので、確認しておく。HTML ファイルでファイル名を指定するときは、拡張子も表示する必要がある。写真の場合は拡張子jpg⁴がお勧めである。
8. **保存**ボタンをクリックする。







³ これらの写真は、学校が購入したものであり、わたしたちがウェブページの作成などに利用することができる。

⁴ 拡張子 jpg は jpeg でも同じである。

2 [発展] ペイントで描いた絵をウェブページに載せる

注)ドラッグは左ドラッグのことです。右ドラッグと左ドラッグの動作は異なる。

2-1 ペイントで描く

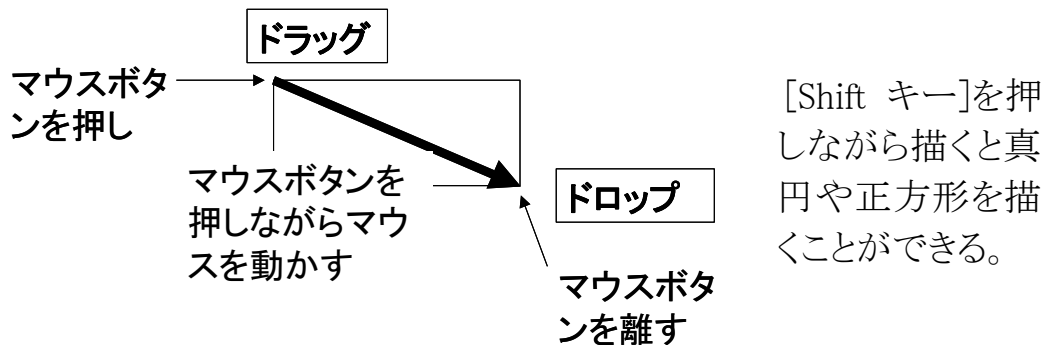
1. **スタート** / すべてのプログラム / アクセサリ / ペイント  をクリックする。
2. ツールの[鉛筆]  をクリックし、作業画面でドラッグすると自由に線が描ける。
3. 図形の[四角]  や、[楕円]  をクリックし、 で「枠」のみか「中塗り」かを選び、線の幅  を選ぶ。




4. 色1をクリックし、右側から色を選ぶ。色が足りないときは「色の編集」から選ぶ。



色2をクリックして色を指定したときは、右クリックすると使える。


5. 作業画面で対角線をドラッグすると形になる。

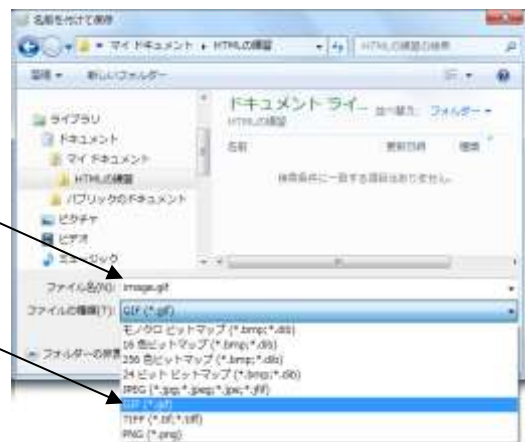


6. ツールの[消しゴム]  をクリックして、作業画面で消したい範囲をドラッグすると消える。
7. ツールの[塗りつぶし]  をクリックすると、枠で囲まれた部分に色が付く。
8. [ブラシ]  をクリックすると、表現が変わる。



2-2 絵をウェブページ用に保存する

1. ペイントを起動して、描画領域を絵の大きさに合わせるため、右下のサイズ変更ハンドルにマウスを合わせ、 の形が出たら調整する。(空白があると、その領域も保存することになるので、描画領域は部分に限ったほうがよい。)
2. 絵を描く。
3. 編集メニューの[ペイントボタン／名前を付けて保存]を選ぶ。ダイアログボックスの「保存する場所」を変更し、保存すべきフォルダーを選ぶ。今回は、「マイドキュメント」▶
「HTML の練習」フォルダーを選ぶ。
4. ファイル名の欄に image と書く。
5. ファイルの種類^{拡張子}の欄から JPEGかGIFを選ぶ。
6. 保存ボタンをクリック。



(注意)

- 保存する際、ファイルの種類を指定しないと、24ビット ビットマップ (.bmp)になる。しかしペイントで作成できる bmp 形式の画像は、IE でしか表示されず、ほかのブラウザでは表示されないし、ファイルの容量も大きく、開けるのに時間がかかる。インターネットで推奨されている画像形式は写真の場合 JPEG や PNG、絵の場合 GIF である。
- オンライン画像のクリップアートでは「絵」は png、「写真」はjpgである。ファイルの拡張子をファイル名の変更手順で変えると、ファイルが壊れるので、一度ペイントなど画像処理のソフトに取り込んでから、ファイルの種類を変更して保存すること。

3 [発展] デジカメや携帯で撮った写真を使う

デジカメや携帯で撮った画像は、ファイルとして扱う。パソコンにメモリー媒体を読めるドライブがあれば、コピーできる。最近では、USBドライブに接続可能なデジカメも多い。

4 新しいページの作成

今まで学んだタグを使って、ウェブページを作成してみよう。
著作権のある写真やボタンを使わないように注意しなさい。
「HTML の練習」フォルダー(先に作った hello.html と同じフォル
ダー)に、ファイル名は **school.html** で保存する。

下の HTML を参考に自分なりに書いてみよう。完成サンプルは下にある。

先頭行は<html>で始める

背景色：ライトブルー<body bgcolor=lightblue>

挿入場所：中央<p align=center>

文字のサイズと色：6、ブルー

画像の挿入（画像ファイルは image2.jpg）：中央に配置

```
<p align=center></p>
```

リンク：リンク先 URL <http://www.toyoeiwa.ac.jp>

```
<a href=http://www.toyoeiwa.ac.jp>東洋英和女学院</a>
```

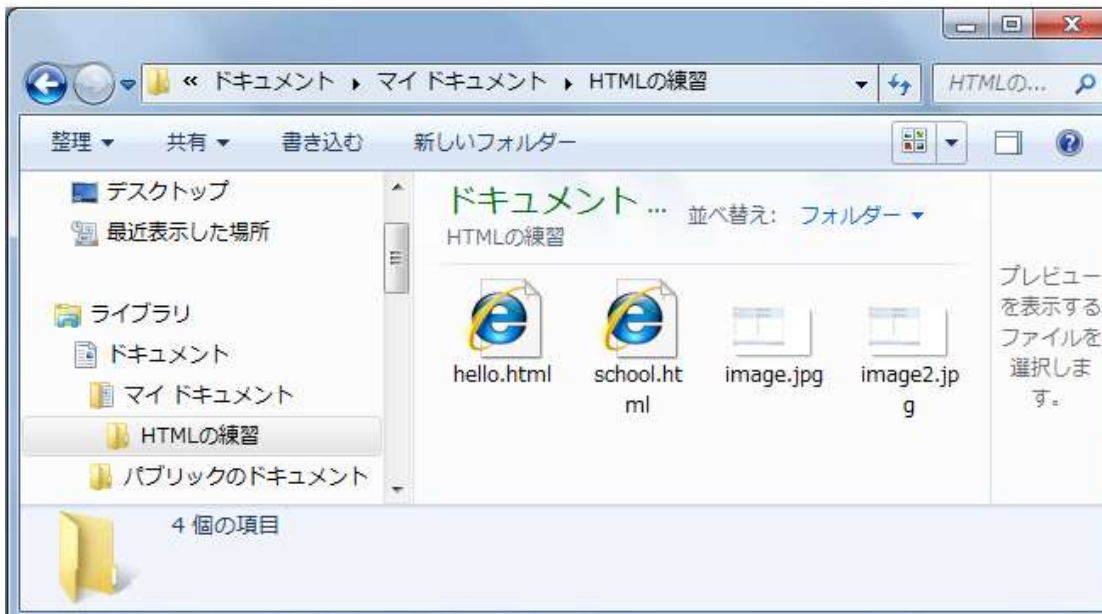
リンク：リンク先 ファイル名 hello.html

```
<a href="hello.html">戻る</a>
```



5 サイトの完成

演習4が完成すると、例8と演習 4 のリンク先ページが開くようになる。フォルダーとファイルの関係をエクスプローラーで見ると、次のようになっている。



例 8 と演習 4 で示した画像ファイルやリンクの書き方は、同一フォルダー（ここでは「HTML の練習」フォルダー）に、すべてのファイル（hello.html、school.html、image.jpg、image2.jpg）を置く場合である。


コラム カラーチャート

背景や文字の色をもっと自由に使用したいときは、「カラーチャート html」というキーワードでウェブサイトを探してください。色見本のページがあり、色の名前とコードが載っています。

色の名前で書いても英数字で書いても同じです。英数字の場合は先頭に#をつけます。

`color="#ff0000"`

`color="red"`

	pink #ffc0cb
	plum #dda0dd
	powderblue #b0e0e6
	purple #800080
	red #ff0000


レポート 「ウェブページ作成」

作成したファイルを、下に示すレポート提出フォルダーにコピーすることにより提出とする。

- すべてのファイルを提出すること。本文(拡張子がhtml)のファイルだけでなく、写真や絵(拡張子がjpg)のファイルも提出すること。
- 提出先フォルダーは、学内からしか見えません。学外からは提出できません。
- 提出期限:[月 日]の授業時間内(提出期限厳守)
提出先:担当教員

レポート提出方法

提出先フォルダーは、学内のみ見えます。学外からは提出できません。

- ① 「エクスプローラー」を開く。
- ② 左側ナビゲーションウィンドウの「ライブラリ」▶「ドキュメント」▶「MyDocuments」▶「HTML の練習」を選択。右側ライブラリウィンドウにファイルがあるか確認する。
- ③ 左側ナビゲーションウィンドウの「ライブラリ」▶「共用フォルダー」を選択する。
- ④ 右側ライブラリウィンドウの「基礎情報科学 I・II」▶「履修時間と担当の先生」と選択し、「自分の学籍番号と名前」のフォルダーがあることを確認。
- ⑤ 左側ナビゲーションウィンドウの「HTML の練習」フォルダーをドラッグして、
- ⑥ ドラッグの最中に「学籍番号へコピー」のメッセージが出ることを確認して、
- ⑦ 「自分の学籍番号と名前」のフォルダーに合わせ、フォルダーが選択されたことを確認してからドロップする。

